



J・A・C
(第 6 号)

千葉支部だより

発行者 篠崎仁
編集者 結城純一

第2回千葉・栃木・茨城三支部合同懇談会



期日：2009年2月8日(土)～9日(日)

参加：栃木支部 11名 茨城支部 8名 千葉支部 28名 本部 1名 計 48名

千葉・栃木・茨城三支部の第2回懇談会が、2月7～8日に南房総市で開催されました。2007年、同時期に設立された三支部が懇親を深め連携して支部活動を推進しようとの趣旨で、第1回懇談会は昨年2月栃木の日光湯元で開催されました。今年の会場は昨年1月の支部新年山行で好評だった民宿治郎吉です。栃木支部11名、茨城支部8名、千葉支部28名そして本部より神崎忠男副会長の計48名と多くの参加者を得ることができました。16時より懇談会を開催、神崎副会長より山岳会の現況そして首都圏の支部に対する期待が述べられ、続いて各支部より設立後今までの活動状況について

報告がありました。18時よりの懇親会は、伊勢エビ、アワビ、新鮮な魚貝の舟盛りで、海辺の宿の料理を楽しみながら支部同士の新しい出会いの場として大いに盛りあがりました。

翌8日は、富山、鋸山登山、鋸山ロープウェイでの散策コースと3パーティに分かれ房総の山歩きを楽しみました。これをきっかけに、各支部の連携をさらに深め共同事業も推進していきたいと考えています。次回は茨城支部が担当で来年2月6～7日に開催予定です。

今から楽しみにしてください。
(篠崎仁)

富山登山コース

前回の栃木支部から今回は千葉支部主催で懇親会と登山が開催されました。登山は鋸山と富山の二つの山、鋸山は車力コースとロープウェイ利用の登山の2コース、それに富山は宿から出発しての登山です。私の担当は富山コースでした。登山参加者は41名で富山は23名、鋸山車力コースが10名、鋸山ロープウェイコース8名です。富山は登山者数の半数以上の大所帯でした。宿を8時30分出発でしたが、私の不手際で10分遅れでスタート。21名は縦一列に並んでJR岩井駅前から県道沿いに歩く。ほどなく歩くと正面に双耳の富山が大きく道路越しに見える。40分ほどで登山口の福満寺に着く。ここで宿泊せず登山のみ参加の女性2名が加わり総勢23名で登山開始。サブリーダーの渡辺さんを先頭に山頂を目指し歩き始める。暫くは舗装路の急斜面を行くと3合目の石柱が見えると水仙の群落地に着く。一汗かいたので小休止して満開の水仙を觀賞する。ここから私が先頭になり、やがて5合目の石柱が見えると千葉県唯一の岩峰伊予ヶ岳が見えます。舗装路も終わりシイの巨木が生い茂る登山道の急登となり7合目をめざす。山頂へのふんばりどころ、皆が快調で遅れる人もなく7合目に着きました。まもなく海岸が見える場所があり再度水仙の花が咲く場所で疲れを癒してくれました。少し進むと展望が開け仁王門跡に出る。石段を登ると観音堂があります。観音堂の左側が双峰の一つ南峰(342m)です。南峰は登山に適していないので迂回して北峰に登ります。観音堂を後に両峰の鞍部へと足を進める。鞍部はもう一方の富山中学よりの登山道と合流する。見晴らしも良く東京湾方面では昨日宿泊した宿の手前のリゾートマンションも見えた。休憩所、WCもあるので休息と景色の眺望に最適です。ここから最後の一登りで北峰(349.5m)山頂です。



山頂は広い平地で展望台、皇太子登山記念碑があり登山客で賑わっていました。ほぼ予定時間で登ったので、昼食時には早めに着きました。前日手配したおにぎり弁当を楽しそうに食べていました。天候は快晴ではなかったが360度見渡せ薄ら霊峰富士山も見え写真に収めていました。12時前に山頂を後にして同じ登山道を鞍部まで下り右の登山道を行き伏姫ノ籠窟目指し下山する。ここからは合戸ノ堰まで長い階段にうんざりしながらひたすら下る。下りきると平らな舗装路の林道となり伏姫ノ籠窟へ向かう。ここは伏姫と飼犬八房が住んだと云われる洞窟です。全国的にも知られる『南総里見八犬伝』の発祥場所ですので、立ち寄って見てほしい。やがて右手に水仙と梅が咲く富山中学校が見え県道沿いの登山口に着く。県道脇の町営駐車場で登山案内と今回の幹事役を無事終了。帰路のJR岩井駅に向かって歩く。大変だったが今夜は自宅で熟睡出来るだろう。

(櫻田 直克)

鋸山登山コース

浜金谷駅で合流した千葉市からの会友2人を含めた鋸山登山グループは総勢9人。立春の朝陽が逆光線となってまぶしい山を目ざした。



「車力道」と名付けられたコースは、「金谷石」とも「房州石」とも呼ばれた鋸山から切り出した石を運び出した道を地元の観光協会がヤブを切り開いて整備した道だ。江戸時代には何百人もの男たちが崖を登って切り出した石を、何百人もの女たちが切り台車に乗せ、急

な坂道を上から下へ、上から下へ…と3往復したという。そんな苔むした坂道の石畳には、くつきりと台車の轍(わだち)が残り、隆盛を極めた往時をしのばせてくれる。

採石場から展望台へ、そして三角点まで足を延ばした。茨城から参加された支部長の星埜由尚さんは、元国土地理院の院長を務めたという経歴の持ち主だけあって、「三角点は山の頂上じゃありません。測量の大切なものですから、足で蹴飛ばさないでください」とユーモアを交えながら三角点の役割を教えてくれた。

日本寺で昼食。観光客のお弁当を狙ってトンビが頭上をクルリと旋回した。対岸は三浦半島。千葉支部で歩いた大楠山や衣笠山、そして武山、三浦富士が手に取るようだった。

(三木 雄三)

鋸山ロープウェイコース

千葉支部の参加者は篠崎支部長を含め全員が千葉支部委員会のメンバーとなり、また栃木支部の参加者の方も日下田支部長、乾能氏と栃木支部の重鎮の方々となり、当日、車にて運転係りを務めた諏訪及び結城とも少なからず緊張して2台の車に分乗し、登山口の鋸山ロープウェイ駐車場に到着。ロープウェイに乗車する5名の方を降ろして、諏訪、結城は下山口の日本寺駐車場に向かう事とする。幸いにも本日は絶好の晴天となり一安心。鋸山を含めて、房総の山の魅力は何と言っても三浦半島や伊豆半島を臨む東京湾の大パノマラを展望できる点にあり栃木・茨城支部の参加者の皆さんに満足していただけたらと切に望みながら駐車場に到着。早めに到着したので、階段を登り地獄覗きまで行く。行き違いを

心配し結城氏にその先を行ってもらい、小生は千五百羅漢の石仏安置分岐点を經由し日本寺の大仏像の前で待つ事にする。日本寺は正式には「乾坤山日本寺」といい725年に聖武天皇の詔勅により行基によって開かれた古刹であり、この大仏様は高さ31.5Mの高さで石仏像では日本一との由。



11時半頃に一同到着し、大仏様前で記念写真を撮り、庭園に見事に咲き誇る水仙の白い花々を見て、紅梅のほのかな香りを嗅ぎながら昼食の弁当を頂く。12時半に日本寺を出発して、結城氏の案内で道の駅の「とみうら枇杷倶楽部」へ立ち寄る。周囲一面は菜の花畑

が広がり、一足早い房総の初春を栃木支部の方々も楽しんでいらっしゃいました。ここで、お買い物と食後のコーヒーを楽しみ、午後3時発の特急に乗る予定のお二人を浜金谷駅までお送りしました。
(諏訪吉春)

忘年山行「大楠山・衣笠山」

東京湾越しに見る千葉の山もいいものだ、とばかり千葉支部の忘年山行に三浦半島の名山・大楠山を選んで歩いてきた。晴れて見通しの良い冬の日、貨物船が行き交うかなたが房総の山波だ。「汽笛一声新橋を…」で始まるご存じ「鉄道唱歌」の3番に「窓より近く品川の、台場も見えて波白き、海のあなたにうすがすむ、山は上総か房州か」と登場する、これこそが鋸山と鹿野山だ。横須賀線衣笠駅からバスで登山口へ。



歩き出して間もなく横浜と横須賀を結ぶ道路をトンネルでくぐるといよいよ山道。急な階

段にさしかかる。20人を超える集団が長く、短く、1本の糸のように進んでいく。大きなアンテナを見ると山頂に着いた。アオキの赤い実が、春を待っているかのように光を浴びていた。



展望の中で弁当を広げる。まだ先があるから急ごう。下って、登りかえす。衣笠山まで足を延ばすと、千葉がさらに近づいた。「美人の横顔」が見えた。東京湾観音だ。鋸山は「のこぎり」だ。ぎざぎざだ。その右奥に富山の双耳峰が美しい。「よかったね」。みんなの声が楽しそうだった。

(三木 雄三)

「平成20年度支部事務局担当者会議」に参加

去る2月7日～8日に開催されました「平成20年度支部事務局担当者会議」に参加しましたのでその概要について報告いたします。

参加者は宮下会長、神崎副会長、吉永・宮崎・成川各常務理事、山川・岡部各理事、全国 28 支部事務局、総務委員です。

2 日間にわたり討議された内容は下記の通りです。

(1) 「全国 28 支部事業計画・予算請求書」について

- ・各支部とも支部助成金一人当たり 3,500 円(千葉支部は 2,500 円です)を全額公益事業費として計画を立てる。
- ・平成 21 年度は試行年として全支部で公益事業に取り組む。
- ・各支部の公益事業計画内容を報告し情報の共有化を図った。

(2) 「公益法人改革の進捗状況と山岳会の取り組み」について

- ・「山」2 月号に掲載された「公益法人制度改革法施行と日本山岳会の取り組み」について説明された。平成 25 年 11 月までに「公益法人」か「一般社団法人」のどちらかを選択しなければならないが、いろいろな意見が出されており、当初公益法人化と考えられていたが現状では慎重論も強まっている。しかし、今後も日本山岳会としてより良い方向性を探っていく。
- ・公益法人と一般法人のメリット・デメリットの比較をした。
- ・今年は各支部の公益事業の傾向を確かめたい。
- ・各支部の活動を具体的に分かる様な会計の報告をして貰い、今後の組み立ての材料にしていきたい。(各事業毎に収支報告書を提出する)

(3) 「山の日」プロジェクトを正式発足(吉永・成川理事担当)

- ・「海の日」が制定され国民の祝日になっているにもかかわらず、未だ「山の日」はない。社会一般に対し様々な企画、事業を通して全国規模の「山の日」の制定をめざす。
- ・各支部で活発化していく。
- ・「山の日」プロジェクト担当者を各支部から選出する。
- ・山を全体的に考え健康づくり活動と捕らえる。
- ・読売新聞が全面的に支援すると表明している。
- ・全国知事会等への働きかけも必要ではないか。

「登山道情報の提供について(依頼)案」

国土地理院と(社)日本山岳会は連携して登山者等の安全性向上の観点から主要な登山道に関する変化情報等を交換することにより、地形図等の登山道を早期に更新することを目的として平成 21 年 4 月より実施予定としている。

(豊倉さと子)

2009 年通常総会開催のお知らせ

下記の通り第2回通常総会を開催いたします。この総会は、2008 年度決算、2009 年度事業計画及び収支予算などを審議いただく重要な総会です。追って詳しいご案内を差しあげることとしておりますが、今からご予定をお願いいたします。総会終了後、講演会並びに懇親会を予定しております。また翌日 17 日(日)は、支部設立2周年記念山行を企画しています。

記

日 時:2009 年 5 月 16 日(土) 13 時 30 分～14 時

講演会:14 時～15 時

懇親会:15 時 10 分～17 時

会 場:京葉銀行文化プラザ

(昨年と同じ場所です。千葉市中央区富士見 1 丁目 3-2 Tel.043-202-0800)

新緑の上高地散策

昨年10月に紅葉の上高地のスケッチ、カメラ山行が行われました。今回の企画は昨年同様に新緑の大正池から上高地銀座(河童橋周辺)の山塊を散策し、上高地山岳研究所に宿泊するプランです。新緑の上高地をスケッチブック、カメラに収められてはいかがですか。 また、スケッチ、カメラにかかわらず参加して自由に散策をお楽しみ下さい。

(渡邊信一、後藤三男)

日程:21年5月30日(土)～31日(日) 1泊2日(連泊可)

行程の詳細は後日参加者にお知らせします。

アクセス 千葉駅一松本駅 直通(JR)

AM 6:38 6:53 7:08 7:30 10:23 10:50 12:30

千葉一船橋一錦糸町一新宿一松本一 島々一上高地

費用(交通費)JR 千葉一松本を基準として

片道 4,620 円 特急自由席 2,310 円(指定席 2,820 円)×往復

松本電鉄松本一上高地駐車場、往復 4,400 円(片道 2,400 円)

宿泊:上高地山研(上高地山岳研究所) TEL:0263-(95)-2533 FAX:0263-(95)-2635

宿泊費:6,000円位(20名で) 募集 25名程度

申込締め切り5月16日(土)

申込先 渡邊信一 あて

● 編集後記

今度の総会で支部創立2年。今後の山岳会の方針に公益事業が打ち出されました。

皆様のお力をお借りしたいと思い、千葉支部の企画に積極的に参加して下さい。(結城純一)